

東京すくわくプログラム活動報告書① テーマ:水・砂・泥遊び

＜テーマの設定理由＞

乳児期から泥んこ遊びを楽しみ、泥や水の感触に親しんでいる。泥んこになって遊ぶことで、五感を使い、想像を膨らませてやり取りや遊びを広げていくことが出来る。暖かくなってきた時期に全身泥んこになり思い切り遊びたいと考えテーマにした。園庭で水遊びを楽しんでいる中で、蛇口の開け閉めを行い水遊びを楽しむ姿が見られる。バケツに水を汲み、運び遊んでいる。タライに入れた水が光の反射でテントの中の屋根に映ったことがきっかけで光の動きを楽しむ姿が見られた。

＜準備した素材や道具＞

・タライ ・バケツ ・水 ・テント

＜環境＞

日除け対策としてテントを出し、日陰を作りながら戸外遊びを行っている。園庭遊びの時には裸足で戸外へ出て砂水泥遊びを楽しむことが多い。

＜子どもの様子＞

自分たちが遊びたい所へ、水を運びタライに移し替える姿が見られた。何度も運び、タライの水が一杯になった時に一人の子がふと上を見上げるとテントの屋根にタライの水の反射が映っていた。「あれは何だろう？」と指を差し不思議そうに見ていた。「あれ？動いてる！」「おばけかなあ？」「卵みたいな形！」と色々想像を膨らませながら楽しんで見ている。



＜午後＞

園庭に溜まった水がテラスの天井にゆらゆらと揺れて映っていた。「こんなところにもあった！」と見つけ、ここの水が映ってるんじゃない？と発見し、楽しむ姿があった。

窓に映った影や光を見て形や動きを不思議そうに楽しんだ。



園名：社会福祉法人たつの子の会
羽村しらうめ保育園

活動日時：令和 7 年 6 月 5 日

クラス名：うさぎ組（2歳児クラス）

年間テーマ：砂水泥遊び



＜振り返り＞

- ・ 普段は水の感覚や刺激を味わいながら遊んでいる。いつも楽しんでいる遊びの中で子どもから“何かある”“何だろう”という発見があった。子どもから発見から形や動きに気が付き、楽しむ姿が見られた。
- ・ 水を使う遊びは日頃楽しんでいるが、水の形や動きを見ることは初めてだったので色々な所に映っているのを探して楽しんでいた。
- ・ 奇妙な動きやいびつな形の影に興味を持ってイメージを膨らませていた。